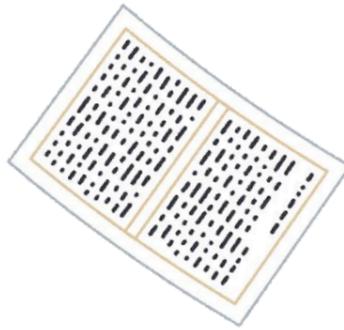


第2学年 学年だより No.8

令和4年 5月13日(金)

2年生になり、早くも1カ月が過ぎました。今年度、頑張りたいことや成長したいこと、意気込み等を作文に書き、改めて決意を固めました。各クラス2名ずつ作文を紹介させていただきます。



2年生になって

B組 桑原 武琉

僕は二年生の目標を、春休みのある一日に定めた。それは「心機一転」だ。これは、大きな節目に直面したときに、心を入れ替えるという意味の言葉になる。僕はこの言葉を目標に設定した自分に満足したが、高いハードルだと思ったので、少し不安も覚えた。そして、あらためて一年生までの僕の日常を思い出してみた。

一年生の一学期、僕は勉強に部活動に、忙しくも充実した日々を送っていた。それは、二期の中盤までは大して変わらなかった。しかし、その時期を境にして、勉強がスランプに陥る不測の事態を招くことになった。二学期の期末で僕は結果が悪かったことを、塾や部活動のせいにして逃げ出した。それは今思い返すと格好悪いことだと自覚できる。しかし、当時の僕はその事実から目を背け、学年末でも結果を変えられなかった。だからこそ、僕はこの「心機一転」という目標を打ち立てることにした。勉強はゼロからのスタートである。部活動でも一年生との競争が待っている。これからは、自分のやるべきことにもっと力を注ぐ。自分より忙しい人なんてこの世にも、同じ中学生にだってたくさんいる。できる人はもっとやっている。そう心にたたき込み、二年生からの生活をスタートさせたい。

2年生になって

B組 酒井 里衣紗

私には、中学生のうちに成し遂げたい目標があり、今年度こそは目標のための努力をおこたらないと心に決めた。

その目標とは、部活動や生徒会と両立させながら、定期考査で九十点以上とることだ。この「両立」という言葉は、ただ部活動や生徒会活動に参加するだけでは成り立たないと思っている。

私は「両立」を達成させるためには、優先順位を付けることが必要不可欠だと考えている。理由は、私がこれからどんな順番で行動するのかを把握しておくことで、先の見通しをもつことができ、少し心に余裕が生まれると感じたからだ。このことから、勉強などにも、より一層身を入れることができるのではないかと考えている。また、受験生になる前に、自分の勉強の仕方を確立することで、焦ることなく受験を迎えられると思う。そのために、二年生になるタイミングで、優先順位を付けて毎日の勉強計画を立て、できる限り実行すると決めた。これからさらに工夫を加えていき、楽しく勉強できるようになれば良いと思っている。

二年生になれば、部活動や生徒会にも慣れ、自分なりの勉強方法も分かってくるところだと思えうけれど、気を緩めず、努力を続けていきたいと思う。また、見通しをもった行動をすることで一年生に頼ってもらえる先輩になりたい。

中学二年生になって

C組 前田 恭吾

僕は中学二年生になって頑張りたいことがある。

一つ目は、部活動だ。一年生の時、練馬区三位までいったが三年生の卒業後、他校との合同チームとなった。大会で上位にいきたいので、今年は毎日こつこつ練習し努力を怠らない。

二つ目は、提出物だ。僕は小学校の頃は提出物を期限内に出すことがほとんどなかった。成績を上げるためにも提出物を期限内出す。

三つ目は、人との接し方だ。僕は思った事をすぐに言うてしまうので、一度頭で考えてから口にするようにしたい。

四つ目は礼儀だ。僕は先生から挨拶をされてから挨拶を返している。一年生のお手本になるように自分から積極的に挨拶をしていきたい。

五つ目は、人の話を聞くことだ。僕は人の話を聞くのが苦手だ。そのせいで分からないことが多く周りの人に聞いて迷惑をかけている。今年はしっかり先生の話の話を聞く。

僕は、これらの目標を一つでも多く達成できるよう頑張る。そして、先輩ということ意識し、文武両道を実現させる。

2年生になって

A組 松本恒汰

ぼくは、二年生になって一年生の手本となるような存在になりたい、いろいろなことを伝えていききたいと思うようになりました。

自分が中学校一年生になったばかりの頃は、新しいクラスに慣れず、ほとんど同じ小学校で仲がよかった人と共に行動をしていました。しかし、その同じ小学校で仲良かった人だけでなく学校の先輩や部活動の先輩と仲良くなるだけで、学校に入ったときの不安や恐怖心が解消され、その勢いで自分から同じ学年の知らない人たちに声をかける勇気が生まれるかもしれないと思いました。なぜなら、自分が中学校に入ったときの不安や恐怖心は、同じクラス、あるいは同じ学年に向けて感じたただでなく、学校の先輩や部活動の先輩にも感じたものだからです。さらに、後輩に不安や恐怖心を与えたらダメだと思うのにはもう一つ理由があります。それは、自分が一年生だった頃、多くの部活動の先輩にも同じことをしていたからです。

僕はあまり積極的に自分から話しかけるタイプではありませんが、一年生のためにも、勇気を振り絞って積極的に話しかけてみたいと思います。

このように、僕は二年生になって一年生の不安や恐怖心を解消するため、そして、自分が一年生のときに先輩にもらったことを思い出して、積極的に話しかけるといった試練を乗り越える決意をもちました。

2年生になって

A組 新堀 桃子

私は去年の今頃、とても不安な気持ちがたくさんありました。新しい友達をつくるのが出来るのかという心配と、中学校の勉強についていくことが出来るのかという戸惑いです。しかし、話しかけてくれる友達や、やさしく接してくれる先輩や先生方のおかげで、すぐに中学校に慣れることができました。ですから二年生になった今、思うことがあります。

一つ目は、今年入学した新一年生に、自分がしてもらったように優しく接することです。今の一年生も不安な気持ちをたくさん抱えていると思うので、その分、谷原中学校のことをたくさん伝えていきたいと思っています。

二つ目は、後輩に尊敬されるような先輩になるために、勉強や部活動を頑張ることです。宮木先生が話していた、尊敬される先輩について考えると、提出物を出さず、部活動に全く来ない先輩は尊敬できないと思ったので、私は後輩から見て「先輩すごいな。」と思える先輩になりたいです。

三つ目は、委員会に入ることです。去年も今学期も勇気が出ず、委員会に入ることができなかったのですが、次は勇気を出して挑戦してみようと思います。

一年生で学んだことを活かしながら、充実した一年間に出来るようにがんばりたいです。

